

ヘルスケアビジネス参入セミナー テクノロジーで進化する 予防・健康サービスの社会実装

2026.1.26(月) 13:30~16:00

ワインクあいち 11階 会議室1102 (名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

参加無料 定員100名 (13:10開場)

対象者：ヘルスケア製品及びサービスの開発・事業化・活用に関心のある企業、自治体、医療・介護関係者

= = プログラム = =

1. 開会挨拶

2. 新たな技術を活用したヘルスケアサービスの取組事例

「日常生活を起点とした、データサイエンスに基づく新しい個別化医療」

株式会社おいしい健康 代表取締役CEO 野尻 哲也 氏

「患者プラットフォーム構築によるヘルスケアサービスの更なる進化」

株式会社カケハシ 上級執行役員 西田 庄吾 氏

3. 科学的根拠構築の最新動向

「国立長寿医療研究センターにおける認知症予防および介護予防を目指した取り組み
～脳とからだの健康チェック（高齢者大規模調査）～」

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター

デジタルヘルス研究チーム チームリーダー 中窪 翔 氏

4. 施策紹介

経済産業省 中部経済産業局

独立行政法人中小企業基盤整備機構 中部本部

5. 名刺交換・意見交換

高齢化社会において、健康寿命の延伸には「予防」の重要性が高まっています。

ヘルスケア産業では、公的保険外サービスの市場拡大とともに、デジタル技術などを活用したヘルスケアサービスが多様化しており、異分野参入のチャンスが広がっています。

ヘルスケアビジネスでは、利用者のQOL向上を実現するマーケットインの視点が、特に予防では科学的根拠に基づくサービスの開発が重要です。本セミナーでは、予防・健康領域を対象に、新たな技術を活用したヘルスケアサービスの事例及び科学的根拠の構築にかかる最新の動向を通じて、顧客視点やマネタイズなど、ヘルスケアビジネスへの参入を考えるきっかけを提供します。



講演企業・機関の紹介

株式会社おいしい健康

「誰もがいつまでも、おいしく食べられるように」データサイエンスに基づく栄養療法により「食によるあたらしい予防・医療の実現」を目指すヘルスケア・スタートアップ。利用者の健康状態や疾患、食の好みなどに合わせて最適な献立・レシピをAIが提案し、予防、ダイエット、疾患ごとの食事管理を家庭で手軽に実践できるように支援する「パーソナライズ献立提案・栄養管理アプリ『おいしい健康』」の他、医療機関や薬局、製薬会社と連携した患者支援、食品企業の健康領域事業を立ち上げ・支援するDXヘルスケアマーケティング事業などを展開。



代表取締役CEO
野尻 哲也 氏

株式会社力ケハシ

「日本の医療体験を、しなやかに」

調剤薬局のDXを推進する各種プロダクトを展開するヘルステック・スタートアップ。薬剤師の業務負担を大幅に削減することに加え患者の健康状態や生活習慣にあわせた服薬指導や健康アドバイスを提示する「薬局体験アシスタント『Musubi』」、患者と調剤薬局を結び服薬期間中のフォローを行う「おくすり連絡帳アプリ『Pocket Musubi』」などを提供。薬局向けサービスの拡充とともに、患者への介入・フォローによる治療・薬剤の価値最大化、処方薬に閉じない生活者の健康増進・QOL最大化実現のためのPHRの利活用、薬局・卸事業者・製薬メーカー等との連携による医薬品の流通最適化・供給安定化等、薬局とともに医薬品産業・医療産業全体へと視野を広げて、ヘルスケアの次世代化による医療課題解決に取り組んでいく。



上級執行役員
西田 庄吾 氏

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

老年学・社会科学研究センター

加齢に伴って生じる社会的課題を中心として、高齢者が長年暮らした地域で自立して安心に暮らせる方策を構築することを目的に、

「社会参加」、「自立支援」、「社会支援」、「社会福祉」、「在宅医療」、「地域包括ケア」などを主要なキーワードとして、高齢者にかかわる施策や法制度、さらには経済的視点も含めて広汎な問題解決型の実証研究を推進。様々な課題に対し、調査研究を実施し、それらの科学的成果に基づく情報発信と普及活動を通じて、健康長寿社会の構築に寄与することを目指す。



デジタルヘルス研究チーム
チームリーダー
中窪 翔 氏

申込 はちら
2026.1.20 (火) 締切



問い合わせ先

中部経済産業局 航空宇宙・次世代産業課
ヘルスケア担当

052-951-4091

bzl-healthcare-chubu@meti.go.jp

主催 :

